

県立青少年教育施設の再編について

これまでの経緯と状況の変化

県立青少年教育施設は、平成15年度の見直し(9所から5所)から15年が経過しています。平成25年度には社会教育委員会会議において、今後の在り方について答申をいただきました。その後、施設をめぐる社会状況も大きく変化した。平成27年度に「千葉県公共施設等総合管理計画」が、平成28年度に「公の施設の見直し方針」がそれぞれ出され、5所体制の再編の検討を進め、現在の指定管理期間中に「県立青少年教育施設の今後の再編に係る指針」について策定することとしました。

「県立青少年教育施設の今後の在り方について」 (H25 社会教育委員会議答申)

1. 県立青少年教育施設が果たしてきた役割

- ・体験活動の重要性・青少年の健全育成のための「体験活動の拠点」

2. 県立青少年教育施設の今後の方向性

- (1) 5所体制の維持・月出野外活動施設の廃止 (2) 指定管理者制度の継続
- (3) 魅力あるプログラム開発 (4) 設置目的及び名称変更

青少年教育施設を取り巻く状況の変化(H25以降)

◎「千葉県公共施設等総合管理計画」(H28年2月)

中長期的な取組により施設総量の適正化を図る。

(30年間で延べ床面積 15%縮減)

◎「公の施設の見直し方針」(H28年7月 行革推進本部)

児童生徒数の減少、利用状況、施設の老朽化の状況等を踏まえ、県立5施設体制を見直すこととし、現指定管理期間中に各施設の取扱い方針を決定する。

青少年教育施設の今後の再編について

○年少人口の減少

千葉県の年少人口(0才~14才)は平成37年には、27年度を基準として約13%減少が見込まれています。また、その後も減少傾向が続きます。近年の宿泊稼働率は、5施設の平均が28%程度であり、この点から考えると、5施設でなくても十分に対応が可能です。

○施設の経年劣化

平成30年度現在、県立青少年施設5所は一番古い施設で設置後46年(東金、昭和47年設置)が経過しています。適正な配置・規模など施設の在り方を精査した上で、施設総量の縮減に取り組む必要があります。

○名称の混在

現在3つの少年自然の家と2つの青年の家が混在している状況となっています。それぞれ「教育機関設置条例」により名称とともに目的、事業が規定されています。実際の利用実態や、施設での活動内容には大きな違いはありません。利用者にとっては名称の違いにより利用できるかどうかの疑問が生じたり、活動内容に制限があったりすると誤解をしてしまうことが考えられます。

○月出野外活動施設の取扱い

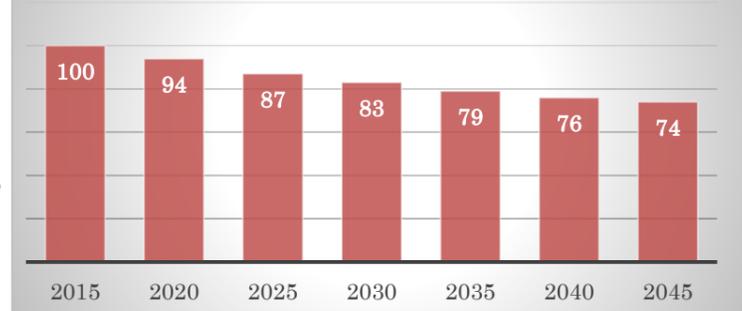
- ・君津市宇舟ヶ作、現在、君津亀山少年自然の家が維持管理を実施。君津亀山少年自然の家から約30km。
- ・利用頻度は年間1回程度。
- ・利用時のみライフラインを確保。
- ・屋外施設の破損はひどく、修繕はもとより、撤去するにも費用が掛かる。



5所体制再編に関する視点

- ① : 年少人口の減少に伴う施設の必要数
- ② : 施設の利用実態
- ③ : 自然をテーマにした施設の特徴
- ④ : 宿泊施設としての施設の構造
- ⑤ : 地域とのつながり

2015年度(平成27年度)を100とした時の年少人口の割合(%)



施設の設置年度(施設の経過年数)

手賀の丘少年自然の家	⇒ 平成5年設置(25年)
水郷小見川少年自然の家	⇒ 平成9年設置(21年)
君津亀山少年自然の家	⇒ 昭和61年設置(32年)
東金青年の家	⇒ 昭和47年設置(46年)
鴨川青年の家	⇒ 昭和63年設置(30年)

「県立青少年教育施設の再編」について 参考資料

教育振興部生涯学習課

施設名		手賀の丘少年自然の家	水郷小見川少年自然の家	君津亀山少年自然の家	東金青年の家	鴨川青年の家
所在地		柏市	香取市	君津市	東金市	鴨川市
指定管理者		アクティオ株式会社 H20年～ 3期目	小見川フィールドパートナーズ (国際自然大学校・東急コミュニティー) H28年～ 1期目	千葉自然学校グループ H20年～ 3期目	株式会社オーエンス H23年～ 2期目	公益財団法人千葉県教育振興財団 H20年～ 3期目
設置年		平成5年	平成9年	昭和61年	昭和47年	昭和63年
敷地	面積 (㎡)	26,822.67	38,281.50	104,276.45	24,661.00	45,785.65
	所有者	県所有 (県買収)	県所有 (小見川町から寄付)	県所有 (県買収)	東金市 (無償貸与)	県 (鴨川市から寄付)
建物	延床面積 (㎡)	5,860.83	5,675.00	5,371.87	4,805.75	6,365.18
予算	指定管理料 (千円)	81,373	99,360	92,821	83,455	101,766
収容	宿泊定員 (人)	300	264	300	200	360
	キャンプ場定員 (人)	-	100	100	100	100
	合計 (人)	300	364	400	300	460
体験活動	体験フィールド	手賀沼	黒部川	山・森・小櫃川・亀山湖	里山・栗山川 (横芝光町)	海 (太平洋)
	プラネタリウム	○	○	○	-	-
	天体観察	プラネタリウム	プラネタリウム・屋外観察	プラネタリウム・屋外観察	屋外観察	-
	特色	ラート体験 (ニュースポーツ) など	カヌー体験など	森林体験、かずさ掘り体験 など	竹灯づくり、山菜掘など	カッター、シーカヤック、磯遊びなど
利用状況	利用者地域割合					
	利用団体における市内・市外の小中学校数割合					
	宿泊利用割合					
	宿泊稼働率 (%)	26.30%	33.40%	20.80%	19.20%	33.10%